腰越行政センター冷温水機点検仕様書

(目的)

第 1 条 吸収式冷温水機等の点検及び保守等の各業務に関する仕様を定め、当該業務を合理的かつ効率的に執行することを目的とする。

(受注者の負担の範囲)

第 2 条 受注者の負担の範囲は以下のとおりとする。

- (1)業務の実施に必要な、電気、ガス、水道等の光熱水料は発注者の負担とする。
- (2)点検に必要な工具、計測機器等の機材は、設備機器に付属して設定されているものを除き、受注者の負担とする。
- (3)保守に必要な消耗品又は材料、油脂等は受注者の負担とする。

(危険防止の処置)

第 3 条 業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全処置を講じ事故の防止に努める。

(関係資料等の整理)

第 4 条 保守点検等のチェックシート類の関連資料の整理保管は受注者が行う。

(予備品等の管理)

第 5 条 支給された消耗品及び予備品の在庫管理は受注者が行う。

(点検に係る一般事項)

第 6 条 保守業務を行う吸収式冷温水機とは、矢崎総業株式会社が販売した吸収冷温水器「アロエース」をいう。

- 2 保守業務を行う冷却塔は、開放型の冷却塔をいう。
- 3 保守または修理に必要な部品及び材料はメーカー指定品を使用することを原則とする。
- 4 保守に必要な消耗部品及び材料は、パッキン・Oリング・真空グリス・ランプ・ヒューズその他これらに類するものとする。

(点検及び保守)

第 7 条 点検は定めた周期により適正に行い、必要に応じ、保守その他の処置を講じるものとする。

- 2 点検周期は、年 2 回の定期点検方式（冷房前切替点検、暖房前切替点検）とする。
- 3 一括メンテナンス方式とし、調整・修理の作業費（工費）、溶接修理作業費を除き本契

約の適用範囲とし無償とする。(部品代は有償とする。)

4 冷温水発生機に故障が生じた場合は、発注者の要求に応じて速やかに作業員を派遣し、修理を行うものとする。

【対象機器明細表】

機器名	型式	台数	備考
冷温水発生器	CH-K120U444	1基	ガス焚き
冷却塔	CT-HT-125MQA	1基	

【仕様書】

作業項目	仕様内容	回数	実施月
冷温水発生機保守点検	冷房前切替点検調整	1回	5月
冷温水発生機保守点検	暖房前切替点検調整	1回	10月

年間の保守契約点検は2回の点検一括メンテナンス方式(クレーム時の出張経費含む)

【別途見積】

- 1 日、祝日及び夜間に出動した場合の経費
- 2 交換部品代
- 3 冷却水系の薬品洗浄費
- 4 冷却塔ファン及びモーターの修理並びに交換作業費
- 5 冷温水及び冷却水ポンプの修理及び交換作業費
- 6 対象機器以外の点検及び修理費